

2018年4月24日(火)

協和エクシオ、マクニカネットワークスと 産業プラント向け遠隔集中監視ソリューション展開の協業を開始 ～工場・処理施設等の運用効率化・業務革新を支援～

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）は、クラウド総合エンジニアリング※1分野強化の一環として、産業プラント運用監視業務の効率化・生産性向上を実現する遠隔集中監視ソリューションの展開でマクニカネットワークス株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：池田 遵）と協業を開始することをお知らせします。

■遠隔集中監視ソリューションの概要

本遠隔集中監視ソリューションは各種産業プラントで従来から利用されている分散制御システム（Distributed Control System、以下：DCS）を、変更を加えることなく、遠隔地から一元監視・運用を行うことを可能とするソリューションです。

本ソリューションは、クローズドネットワーク（閉域網）で運用されているケースが多い従来型のDCSをお使いのお客様においても、トラブル発生時には本社と遠隔地にある複数の工場との間でDCSの画面やデータを共有し、問題点を把握、早期回復することを可能にし、稼働停止によるビジネス損失の回避や回復作業にかかるコストの低減が可能となります。

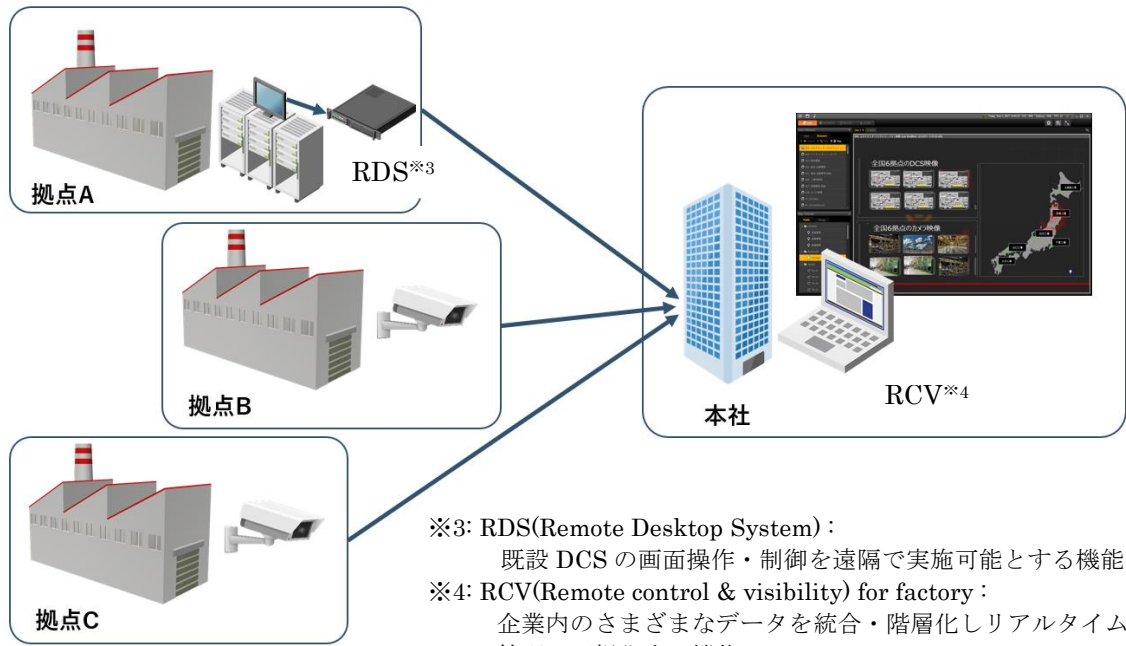
また、企業内のさまざまな定型・非定型の異種データを統合・階層化してリアルタイムに管理・可視化し、分析に活用することで、設備運用におけるデジタルトランスフォーメーション※2を促進し、革新的な業務改革・業務効率化を実現します。

※1：クラウド総合エンジニアリング…

クラウド技術・サービスと連携したネットワーク・システムエンジニアリング

※2：デジタルトランスフォーメーション…

デジタル技術（ICT）の活用により、企業のビジネスモデルやビジネスプロセスを変革していくこと



■協業の狙い

本ソリューションの展開は、当社におけるクラウド総合エンジニアリングの展開において、クラウドネットワーク、オンプレミス^{※5}環境のお客様がシステムの運用・管理を集約し、革新的な業務の効率化に貢献することを狙いとしています。

マクニカネットワークス株式会社の高度な遠隔集中監視ソリューションと当社の持つシステム構築から運用に至る全国一元での品質の高いエンジニアリング技術により、全国に分散したさまざまな産業プラントを効率的に構築・運用するとともに、広範囲・迅速な保守サービスの提供を可能とします。

提供においては、工場などの産業用システムにおいて多くの構築・運用実績をもつ当社がシステム構築、工事、保守を請け負い、マクニカネットワークス株式会社がライセンス提供を行います。

また、当社が運営する焼却施設の遠隔監視に本ソリューションを導入し運用を開始しており、順次他の焼却施設への導入を進め、複数拠点の遠隔監視を当社の本社オフィス（東京都渋谷区）で一元的に実施することを計画しています。

※5：オンプレミス … 企業等が情報システムの設備を自社で保有し運用すること

■対象となる業態・企業

自動車工場、食品工場、電子機器工場、化学プラント、廃棄物処理施設、水処理施設、倉庫、その他インフラ設備監視など

■提供開始日

2018年5月1日

*マクニカネットワークス株式会社 関連 URL: <https://www.macnica.net/>

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室

電話：03 - 5778 - 1075（直） FAX：03-5778-1228

担当：望月 政広